

- 創業40周年記念 - 新春経営者セミナー

指導者の一念 ～決断が未来を拓く～

開催日時 開始 2026年1月20日(火)12:15～ 終了 1月21日(水)～16:30

参加要領

◆対象者：経営者・経営幹部・幹部候補

◆受講スタイル：会場受講 または オンライン受講

グランドニッコー東京 台場
東京都港区台場2-6-1 TEL 03-5500-6711



〈交通アクセス〉

・ゆりかもめ「台場」駅直結
・臨海副都心線「東京テレポート」駅より徒歩約10分

(タクシーの場合)

・新橋駅から 約20分 ・品川駅から 約20分
・東京駅八重洲口から 約25分 ・東京国際空港(羽田)から 約20分

◆受講料(税込)：

	法人会員	一 般
会場受講	110,000円	121,000円
オンライン受講	66,000円	72,600円

※会場受講は、新春記念パーティー代・2日目昼食費が含まれています。(交通費・宿泊費は別途)

※法人会員のフレックスコースをご利用いただけます。

※お申し込み受付後、お支払いが必要な場合、請求書をお送りいたします。

※恐れ入りますが、振込手数料はご負担願います。

第10回「ありがとう卓越経営大賞」贈賞式

「ありがとう卓越経営大賞」は、お客様に喜ばれ、
会社に多くの貢献をした社員や管理者を経営者
が推薦し、応募する全国規模のイベントです。



応募締切 2025年11月末日(当日消印有効)

第10回ありがとう卓越

検索

詳しくは、
ホームページをご覧ください。



※会場受講は定員を設定しますので、会場希望の方はお早めにお申し込みください。

※講師は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

※コンサルティング業関連・セミナー教育業関連等、同業の方の参加はご遠慮ください。

※セミナー中の撮影・録音は、お断りさせていただきます。

※暴力団関係者(準構成員等も含む)・暴力団関係企業・団体、その他反社会的勢力に属する方の参加はご遠慮ください。

※申込数が一定数に達しない場合や自然災害などにより、開催方法の変更、延期・中止を行う場合がございます。あらかじめご了承ください。

お申し込み方法

NISSOKENホームページからお申し込みください

新春経営者セミナー

検索

<https://www.nisouken.co.jp/>



「個人情報のお取り扱いについて」～下記の内容に同意の上、お申し込みください～

○本セミナーにお申し込みの際に、お客様よりいただきました個人情報は、NISSOKEN グループ((株)日本創造教育研究所・(株)コスモ教育出版・(株)COD コンサルタント・(株)企業研修のサービス内容のご案内に利用させていただくことがあります。

○お客様からいただきました個人情報に関して、修正、利用停止、削除などの必要が生じた場合、ご本人様から直接ご連絡いただくことにより、適宜、ご要望に沿った対応をさせていただきます。

○NISSOKEN グループは、ご案内の発送業務において契約している委託業者に、当グループが保有する個人情報を開示することがあります。これらの契約業者とは機密保持契約を締結しており、当該業務以外の目的で情報を使用することを禁じています。

- 創業40周年記念 -

新春経営者セミナー

指導者の一念 ～決断が未来を拓く～

2026年 1月20日(火)・21日(水)

会場 (グランドニッコー東京 台場) ・オンライン

人と企業の成功づくり・中小企業の活性化

 **NISSOKEN**
日 創 研

指導者の一念

～決断が未来を拓く～

2026年の日本経済は、緩やかな回復が見込まれる一方で、米国による関税引き上げの影響や、世界経済の減速、金融市場の混乱など、不確実な要素も多く、景気の下振れリスクが懸念されています。

中小企業においても、深刻な人手不足、賃上げ、物価高、事業承継問題といった課題が引き続き顕在化しています。こうした厳しい経営環境を乗り越えるためには、経営力を強化し、適切な価格転嫁の推進、デジタル化による生産性の向上、新たなビジネスモデルの構築など、持続的な成長に向けた取り組みが不可欠です。

2026年新春経営者セミナーのテーマは、『指導者の一念 ～決断が未来を拓く～』です。

新たな年の幕開けにふさわしい講師陣による講演を通じて、創造的な未来を築くためのヒントとエネルギーを得ていただけることでしょう。新春経営者セミナーで、2026年の素晴らしいスタートを切ってください。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

日創研グループ 代表 田舞 徳太郎

開催スケジュール

1日目 1月20日(火)

12:15～12:25 オープニング

12:25～13:55 **講演Ⅰ**
世界史の構造変化と日本
寺島 実郎氏 一般財団法人日本総合研究所 会長

14:15～15:45 **講演Ⅱ**
多様な個性を活かす経営
～生産性と幸福を両立させるヒント～
青野 慶久氏 サイボウズ株式会社 代表取締役社長

16:05～17:35 **講演Ⅲ**
未来を創る思考と行動
工藤 公康氏 福岡ソフトバンクホークス 元監督

17:50～19:35 第10回「ありがとう卓越経営大賞」贈賞式

19:45～21:00 新春記念パーティー ※会場とオンラインをつなぎます

21:15～ TT同窓会

2日目 1月21日(水)

8:30～10:10 私が伝えたいこと、伝え続けること
松石 禎己氏 株式会社スターフライヤー 元代表取締役社長

分科会
日本でたった一つの
自転車タイヤ専門メーカーの挑戦
大和 竜一氏 パナレーサー株式会社 代表取締役社長

10:30～12:00 **講演Ⅳ**
行動こそ真実
重道 泰造氏 株式会社アイグランホールディングス 代表取締役会長 兼 社長 グループCEO

13:00～14:30 **講演Ⅴ**
多様性とリーダーシップ：
これからの企業に求められる多様性と
それを活かすリーダーシップの在り方
及川 美紀氏 一般社団法人Toget-HER 理事長 株式会社ポーラ 元代表取締役社長

14:50～16:20 **講演Ⅵ**
YKK精神「善の巡環」の実践と継承
猿丸 雅之氏 YKK株式会社 特別顧問

16:20～16:30 お礼とご挨拶

※各講師の講演テーマは変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

講師紹介 (講演順)

1日目



てら しま じつ ろう
寺島 実郎氏
一般財団法人日本総合研究所 会長



あお の よし ひさ
青野 慶久氏
サイボウズ株式会社 代表取締役社長

く どう きみ やす
工藤 公康氏
福岡ソフトバンクホークス 元監督

2日目



しげ みち たい ぞう
重道 泰造氏
株式会社アイグランホールディングス 代表取締役会長 兼 社長 グループCEO



おい かわ み き
及川 美紀氏
一般社団法人Toget-HER 理事長 株式会社ポーラ 元代表取締役社長



さる まる まさ ゆき
猿丸 雅之氏
YKK株式会社 特別顧問

分科会講師紹介 (50音順)

2日目



まつ いし さだ み
松石 禎己氏
株式会社スターフライヤー 元代表取締役社長



やま と りょういち
大和 竜一氏
パナレーサー株式会社 代表取締役社長



講演テーマ

世界史の構造変化と日本

寺島 実郎 氏

一般財団法人 日本総合研究所
会長

世界の潮流が激変する時代、
中小企業が生き残るためになすべきことは何か。
正しい時代認識に立つと、進むべき道は見えてくる。

プロフィール

1947年北海道生まれ。早稲田大学大学院政治学
研究科修士課程修了後、三井物産株式会社に入
社。米国三井物産ワシントン事務所 所長などを歴
任し、2006年に三井物産株式会社 常務執行役員
に就任。また、早稲田大学大学院アジア太平洋研
究科 教授などを経て、2009年4月に多摩大学学
長、2016年6月に一般財団法人日本総合研究所
会長に就任。

保健・医療 パラダイムシフト推進協議会 会長、医
療・防災産業創生協議会 会長、都市型農業創生
推進機構 会長、公益財団法人東日本大震災復興
支援財団 評議員、財団法人国立京都国際会館評
議員、ものづくり大学 理事、公益財団法人似鳥国
際奨学財団 理事など多数の要職を務める。

また、主なメディア出演として、TOKYO MX『寺島
実郎の世界を知る力』、NHKラジオ第一『マイあ
さ!』、TBS系列『サンデーモーニング』などがある。
1994年第15回石橋湛山賞を受賞。2010年4月に
は、早稲田大学名誉博士学位を授与される。

主な著書



21世紀未来図 日本再生の構想
全体知と時代認識
(岩波書店)



人間と宗教 あるいは
日本人の心の基軸
(岩波書店)



日本再生の基軸 平和の晩鐘と
令和の本質的課題
(岩波書店)



ダビデの星を見つめて
体験的ユダヤ・ネットワーク論
(NHK出版)



ユニオンジャックの矢
大英帝国のネットワーク戦略
(NHK出版)



大中華圏—ネットワーク型
世界観から中国の本質に迫る
(NHK出版)



講演テーマ

多様な個性を活かす経営 ～生産性と幸福を両立させるヒント～

青野 慶久 氏

サイボウズ株式会社
代表取締役社長

働き方改革の先駆的企業として知られる「サイボウズ」。
「100人100通りのマッチング」。一人ひとりの個性を尊重し、
自由な議論を促進することで生産性と幸福を両立させる経営の極意とは。

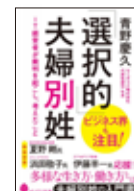
プロフィール

1971年生まれ。愛媛県今治市出身。
大阪大学工学部情報システム工学科卒業後、
松下電工(現 パナソニック)を経て、1997年8月
愛媛県松山市でサイボウズを設立。
2005年4月代表取締役社長に就任。

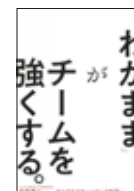
社内のワークスタイル 変革を推進し、最高で
28%あった離職率を大幅に低減するとともに、
3児の父として3度の育児休暇を取得。
また2011年から事業のクラウド化を進め、2024
年時点でクラウド事業の売上が全体の90%を超
えるまで成長。

総務省、厚労省、経産省、内閣府、内閣官房の働
き方変革プロジェクトの外部アドバイザーを歴任
し、SAJ(一般社団法人ソフトウェア協会)の筆頭
副会長を務める。

主な著書



「選択的」夫婦別姓 IT経営者が
裁判を起こし、考えたこと
(ポプラ社)



〈監修〉
「わがまま」が
チームを強くする。
(朝日新聞出版)



会社というモンスターが、
僕たちを不幸にしているのかもしれない。
(PHP研究所)



チームのこころだけ、
考えた。
(ダイヤモンド社)



ちよいでキ!
(文藝春秋)

講演テーマ

未来を創る思考と行動

く どう きみ やす

工藤 公康 氏

福岡ソフトバンクホークス
元監督

「名選手は名監督にあらず」というジンクスを覆し、
福岡ソフトバンクホークスを5度の日本一へと導いた。
その功績の鍵は自身の「進化」にあった。

プロフィール

名古屋電気高校(現:愛工大名電高校)を卒業後、西武ライオンズに入団。2011年引退表明までの29年間の現役中に14度のリーグ優勝、11度の日本一に輝く。2015年から福岡ソフトバンクホークスの監督就任。退任までの7年間に5度の日本シリーズを制覇。正力松太郎賞5回。2016年野球殿堂入り。2020年筑波大学大学院人間総合科学研究科体育学専攻を修了。体育学修士取得。2022年4月より同大学院博士課程に進学、スポーツ医学博士取得に向け研究や検診活動を行う。

トップ営業マンが必ずしも優れたリーダーやマネージャーになるとは限らない。だが、選手としても、監督としても、常にトップクラスの成績を維持したレジェンドが工藤氏である。

監督就任1年目にしてリーグ優勝と日本一の偉業を成し遂げたものの、2年目にリーグ優勝を逃がしてしまふ。「監督としてのあり方を一から見直さないといけない」と猛省する大きな挫折であった。しかし、この挫折こそが自身が「進化」する大きなきっかけとなった。

監督就任3年目からは、コーチ陣や選手とのコミュニケーションを重視するやり方に変えた。とくに若手選手に対しては、向こうから会話をしてくれるような関係づくりに気を配った。昔とは違う人財の育成に全力を注いだのである。その「進化」で、見事に日本シリーズ4連覇を成し遂げた。勝ち続けるために、各選手に課題を与え続けた。それは王会長からの「プロ野球は、シーズンが終わった時点が来季のスタートなんだよ」という助言を実行してのことだった。

工藤氏の哲学は人材育成にも深く根ざす。「人材育成で何より大事なのはコミュニケーション。一人ひとりをいかに細やかに見つめ、いかにこまめに声をかけるか。結局のところ、そこが組織の成長における最も重要な肝です。人材育成が一番の土台だ」という意味では、経営者も監督も本質は一緒。人材育成という強固な土台があってこそ、チームは一丸となって困難を乗り越えることができると思います。」と工藤氏は語る。

チームの勝利はもちろん大切だとしながらも、工藤氏は同時に、選手たちができるだけ長く現役生活を送ることが、引退後のよい人生を歩むことにつながると考える。そのためには、自分自身も学び続ける必要があるとし、監督在任中から筑波大学大学院で体育学を修めた。そして2022年4月からは、同大学院の博士課程でスポーツ医学博士の取得を目指し、今もなお学び続けている。

主な著書



工藤メモ「変化に気づく、人を動かす」最強の習慣 (日本実業出版社)



数字じゃ、野球はわからない (朝日新聞出版)



勝ち続けるチームを支える言葉 (幻冬舎)



プロ野球の監督は中間管理職である (日本能率協会マネジメントセンター)



活の入れ方 (幻冬舎)

講演テーマ

行動こそ真実

しげ みち たい ぞう

重道 泰造 氏

株式会社アイグランホールディングス
代表取締役会長 兼 社長
グループCEO

事業活動を通して少しでも日本の未来に貢献し、
社会課題の解決のために日夜情熱を燃やす。
常にお客様の期待以上のサービスを提供し続けてきた重道氏の信念に迫る！

プロフィール

1988年 早稲田大学法学部 卒業
株式会社東食 入社
1994年 株式会社東食 退社
有限会社アイ貸テレビ入社 取締役就任
1996年 株式会社アイレンタルに商号変更
株式会社アイレンタル 代表取締役就任
2009年 社会福祉法人あい福祉会理事長就任
2011年 株式会社アイグランに商号変更
2013年 株式会社アイグランホールディングス 代表取締役就任(現任)
2013年～2020年
広島県子ども子育て審議会委員

◆アイグラングループ 受賞歴

- ・第7回ニッポン新事業創出大賞表彰制度 企業部門最優秀賞「経済産業大臣賞」受賞
- ・第20回中国地域ニュービジネス大賞受賞
- ・第54回グッドカンパニー大賞「優秀企業賞」受賞
- ・第1回日本サービス大賞「優秀賞」受賞
- ・経済産業省「地域未来牽引企業」に認定
- ・EY Entrepreneur Of The Year 2018 Japan Exceptional Growth 部門
- ・経済産業省「健康経営優良法人2025(中小規模法人部門)」に認定



保育事業
アイグランホールディングス 公式サイトより

人口減少は著しく進み、出生率も減少が続いている。このままのペースで減少を続けると、50年後には日本の人口は8,700万人まで減るといわれている。その現状に「保育」の観点で向き合い、子育ての楽しさを保護者に感じてもらえるよう様々な工夫をしている会社がある。それが「未来に貢献できる企業でありたい」という経営理念を掲げているアイグラんだ。

現在この業界で大きな注目を集めているアイグランは、保育事業を認可保育園114施設・事業所内保育園267施設、直営社員向け保育園35施設、その他保育関連施設11施設、児童発達支援事業27施設、幼児教室3施設、フィットネス事業を34施設など、合計491施設を運営している。躍進の秘訣は、重道氏が一貫して追求してきた「相手の立場に立ったサービス」の提供である。父が始めた貸しテレビの家業を継いだのは30歳の時。家業は順調だったが単品経営に危機感を持ち、スーツケースレンタルの事業を開始。顧客第一の営業姿勢で商圏は一気に全国に広がっていった。しかし、2001年に転機が訪れる。アメリカを襲った同時多発テロである。海外旅行のキャンセルが相次ぎ、スーツケースのレンタルもすべてキャンセル。そのような状況下、社員の雇用を守るために参入したのが保育事業であった。同社は、すべての事業を行うサービスの根幹として、理念に基づいた「相手の立場に立ったサービス」を大切に、食育や様々な教育プログラムを提供している。その取り組みが結果的に他園との差別化を生み出し、現在では、保育関連施設の運営園数において日本で一番の保育事業者である。

さらにここでとどまることなく「未来に貢献できる企業でありたい」という経営理念の基、フィットネス事業や児童発達支援事業にも進出し、成長を続けている。

その根底にあるのが「行動こそ真実」の精神。良いと思ったらやってみて、良かったら続けられよしの、駄目ならやり方を変えられよしの。行動するとは挑戦すること。

アイグランの歴史はまさに挑戦の連続の歴史であり、数多くの困難や課題を乗り越えて今のアイグランがある。課題があるということはそれだけ更に成長できる「伸びしろ」があるということ。これからも「行動こそ真実」を信条に、「50年後の日本人にありがとう」と言ってもらえる仕事を続けていく。



講演テーマ

多様性とリーダーシップ： これからの企業に求められる多様性と それを活かすリーダーシップの在り方

おい かわ み き
及川 美紀 氏

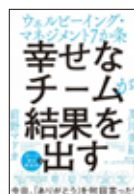
一般社団法人Toget-HER 理事長
株式会社ポーラ 元代表取締役社長

内向きな組織風土から、自発能動の人材が活躍する組織へ。
社員の自律性を育んだ評価制度と
「尖れ、つながれ」のスローガンがもたらした企業改革に迫る。

プロフィール

東京女子大学文学部卒。91年株式会社ポーラ化粧品本舗（現株式会社ポーラ）入社。09年商品企画部長。12年に執行役員、14年に取締役就任。商品企画、マーケティング、営業などを経験し、20年より24年同社代表取締役社長・24年未退任。
21年よりダイアログ・ジャパン・ソサエティの理事に就任。東京・竹芝にあるインクルーシブソーシャルエンターテインメント対話の森ミュージアムの運営をサポート。
25年より一般社団法人Toget-HERの理事長、一般社団法人MASHINGUP理事としてダイバーシティインクルージョン、女性リーダーの育成をテーマとして活動。
6月より三井住友DSアセットマネジメント社外取締役、マツダ株式会社 社外取締役。

主な著書



幸せなチームが結果を出す
（日経BP）

連載

2024年3月～2025年3月
NIKKEI The STYLE 旅についての共同連載

2025年1月～
日経クロスウーマン ジョブレス日記

ベストセラー「パーパス経営」（東洋経済新報社）の著者である名和高司氏がパーパス経営の模範と評するポーラ。その組織変革の礎を築いたのは、2024年まで代表取締役社長を務めた及川氏である。

ポーラ初の女性社長に就任後、コロナ禍でポーラは大きな打撃を受けた。この危機を乗り越えるため、及川氏は社員と徹底的に議論を重ねた。そこから「We Care More.世界を変える、心づかいを。」のスローガンと、「私と社会の可能性を信じられる、つながりであふれる社会へ。」のビジョンが生まれた。

当時のポーラ社員は真面目で勤勉だったが、それは「指示待ち」や「事なかれ主義」が蔓延する内向きな集団でもあった。及川氏は、「自分で考えて行動する社員」に変革したいと願った。「あなたはポーラをどう変えていきたいか?」「そのためにどんな行動をするのか?」と問いかけ、「I will(私は〇〇をします)」という主体的な姿勢を引き出すことを狙った。掲げた「^{とが}尖れ、つながれ」のスローガンには、個人の「will(意思)」を尖らせ、それを実現するために他者と積極的に「つながれ」との思いが込められている。業績評価制度にもメスを入れ、自ら考え行動したことへの評価を手厚くした。これらの取り組みは実を結び、社員の意識は「指示待ち」から大きく変化。及川氏は、「パーパス」の「自分ごと」化が実現した手応えを感じた。

また、ポーラの生命線であるビューティーディレクターと呼ばれる地域のリーダーたちとの対話も精力的にこなした。コロナ禍で売上低下に見舞われ、離職するケースも少なくなかった。危機感を抱いた及川氏は、「We Can More.」のスローガンに沿って「ケア」へのシフトと地域社会とのつながりの必要性を熱く訴え続けた。「コロナに負けず、稼がなくては」と力んでいたリーダーたちに及川氏の思いが届き、地域に根差した活動が増加した。岡山の「ももたろうプロジェクト」や「宇宙コスメ」を用いた能登半島地震被災地支援などがその好例である。これは、「カリスマ型リーダーシップ」から「伴走型リーダーシップ」への転換がもたらした成果と言える。

日本の美容界を牽引するポーラの組織風土改革を成し遂げた及川氏は、現在新たなステージで組織や多様性のあり方を探求している。この時代に求められるリーダーシップについて、及川氏の言葉は私たちに多くの示唆を与える。



講演テーマ

YKK精神「善の巡環」の 実践と継承

さる まる まさ ゆき
猿丸 雅之 氏

YKK株式会社
特別顧問

世界中の顧客の要望に真摯に応え、70 の国と地域で事業を展開。
社長も社員も横一線となって働き、活力あふれる中小企業精神を大切にする。
「善の巡環」を経営の根幹に置く YKK 精神の神髄に迫る。

プロフィール

1951年兵庫県生まれ。
上智大学外国語学部卒業。
1975年現YKK株式会社に入社。
1977年から17年間の米国駐在。
2011年に代表取締役社長に就任。創業家以外で初の社長。世界中の1人でも多くの方々へより良いファスナーをお届けしたいという想いから、高級路線に逃げずに「ボリューム」が大きい標準品ゾーンに適した仕組みへ社内ものづくりから変え、世界トップブランドの地位を守り続ける。
2018年代表取締役会長。
2025年特別顧問。

世界70カ国・地域に展開し、ファスナーの世界トップブランドとして独自の地位を確立してきたYKK。このグローバル戦略のよりどころこそが、創業者・吉田忠雄氏が唱えた企業精神「善の巡環」である。これは、アンドリュー・カーネギーの伝記の「他人の利益を図らずして自らの繁栄はない」という一節に共鳴してつくったもので、顧客や取引先などに善を尽くすことで、巡り巡ってYKKの利益を生むという考え方である。また、「成果三分配」という理念のもと、利益を顧客・取引先・YKKで三分配するという創業者の考えが、YKKの経営の大前提にある。

YKKは、短期的な利益追求ではなく、顧客や社会への貢献を重視する。例えば衣料品や鞆の縫製市場が縮小したアメリカでは、事業と雇用を維持するために自動車関連や消防服、医療関係の特殊なファスナーを開発。合理的な経営なら撤退するような状況でも、一度進出して人を雇用したなら、できるだけその国で頑張ろうとする。これは事業を通じた「善の巡環」の実践である。経営における最大の判断基準こそが、「善の巡環」の精神である。

海外で事業を行うにあたり、現地の産業開発に貢献し、経済発展に寄与することや海外赴任者に対する創業者の「土地っ子になれ」という言葉も受け継がれている。経営は現地に任せているため、投資は本社ではなく現地自ら発案する。開発拠点は地域ごとの多様な要望に応えるために世界各地に置いている。

例えば、コロナ禍においては一人の解雇も行わず、上海のロックダウン下では出向員を含む従業員全体の六割強が工場敷地内に泊まり込むという出来事があった。これは本社の指示ではなく、「お客様に迷惑はかけられない」という現地の自発能動の行動だった。

「善の巡環」は単なる「壁の額の文字」ではない。経営判断そのものに深く影響を与える実践哲学である。事業を通じて社会貢献し、社員一人ひとりの誠実さと思いやりが企業文化として根づいている。この普遍的な精神は、世界中で共感を呼び、YKKの持続的成長と社会的信頼を支える精神的土台となっている。



公式サイトより

まつ いし さだ み
松石 禎己氏株式会社スターフライヤー
元代表取締役社長

プロフィール

1953年長崎県生まれ。佐世保市内の高校から九州大学工学部へ進学。1975年に九州大学工学部卒業後、同年全日本空輸(ANA)入社し、整備や運航を管理する部署に長く携わった。2002年エーエヌエーエアロテック取締役。その後、スカイネットアジア航空(現ソラドエア)、ANAエアロサプライシステム、アイベックスエアラインズなどの要職を経て、2014年3月スターフライヤー入社、同年6月から2020年6月まで社長、2021年6月まで顧問を務める。

主な著書



エアライン社長と靴の汚れ落とし
靴ひもが結ぶ笑顔:空港ボランティアの物語
(リンデンワークス:株式会社ヒロテック) kindle版

講演テーマ

私が伝えたいこと、伝え続けること

株式会社スターフライヤー 元社長が定年後に
選んだ道とは? ありがとうをカタチに。
感謝と決意の気持ちを込めた恩返し。

松石氏が社長就任を打診された当時、スターフライヤーは約30億円もの赤字を抱えていた。故郷・九州への深い思いから、同社の再建を引き受け、路線網の再編成や経営の合理化に辣腕を振るい、わずか1年で黒字化に成功させた。

50年近く航空業界に身を置き、2020年社長退任後の1年間は顧問に就任。そこで恩返しになるものは何かと考え、思いついたのが「靴の汚れ落とし」だった。当初は2か月ほどでやめるつもりだったが、今もまだ続けている。

そこには、スターフライヤーで培われた顧客満足重視の経営哲学がある。「靴の汚れ落としでいろんな人と話すことで見えてくるものがある。」利用者の足元を丁寧に磨きながら交わされる会話に、新たな世界が開けるのである。派手な第2のキャリアではなく、誰かの足元をそっときれいにする、あたたかい挑戦。この活動の背景にある、松石氏だからこそできる恩返しの真意に迫る。

やま と りょう いち
大和 竜一氏パナレーサー株式会社
代表取締役社長

プロフィール

1964年群馬県生まれ。法政大学卒。足利銀行に入行し、ホテルの再建に従事。ソフトバンク・インベストメント株式会社(現SBIホールディングス株式会社)にて数々のM&AおよびIPOを主導する。SBIキャピタル株式会社ではバイアウト投資を行い多くの事業承継案件に関与。その後、ホテル運営会社社長や老舗酒造メーカー社長として企業再生を手がけるなど、多くの企業経営に携わった後、2020年から現職。



New GRAVELKING



Pananacer社屋(工場)

講演テーマ

日本でたった一つの
自転車タイヤ専門メーカーの挑戦

資金力に勝る大手との競争から、ニッチ市場の
グラベルタイヤで世界シェアトップを獲得。
ニーズを見極めた独創的な戦略で新たな挑戦へ。

パナレーサーは、日本でたった一つの自転車タイヤ専門メーカー。前身はパナソニックグループの一員であるナショナルタイヤで、2015年に資本関係を解消。現在はスポーツバイク用タイヤを中心に事業を展開している。かつてはロード用タイヤで世界的な大手メーカーと競争するも、資金力で劣りシェアを落とす。そこで目を付けたのが、舗装路と未舗装路兼用の「グラベルタイヤ」。アメリカのユーザーニーズをとらえた「グラベルキング」を2014年にリリースし、市場を開拓。大手が参入していなかったこのニッチ市場で突破口を開き、現在までグローバルに高いシェアを確保し続けている。

また、国内シェア数%に留まっていたロードタイヤ市場のテコ入れにも着手。若者をターゲットに設定し、SNSを活用したプロモーションで、主力製品「アジリスト」の売り上げは当初計画の2倍を達成し、国内市場で大きくシェアを伸ばした。

国内市場で収益体制を強化しつつ、「グラベルキング」の海外展開と国内普及を加速させる戦略を掲げ、「スピード」を活かした挑戦を続けている。

ご参加いただいたお客様の体験談

株式会社TTC
代表取締役
河越 康行 様
観光事業(静岡県)

参加された理由をお聞かせください。

新たな年のスタートをするにあたり、多くの経営者の方々から学ばせていただき、一年の決意・覚悟を固めるために参加させていただいております。

どのような気づきや学びがありましたか。

新春経営者セミナーは、様々な分野の方々の貴重なお話をお伺いして多くの学びが得られます。時流や経営者としての志など多くの学びがあり、一年を

予測する上で必要な情報源となっています。誰にも負けない熱意と情熱をもって、今、自分が仕事をしているのか?変化に対応できているのか?改めて自分を見つめなおし、原点に戻る場になっています。今年も変化に対応し、人材育成に力を入れ、挑戦していきます!

有限会社アドニス
介護支援サービス
代表取締役
田中 聖子 様
介護事業(宮崎県)

どのような気づきや学びがありましたか。

講演者の経営哲学に触れ、自分と自社の存在価値を見つめ直す機会となりました。世界情勢や政治・経済を踏まえた広い視野を持つことが、経営者としての意思決定に深みをもたらし、未来を拓き、挑戦し続ける力となると感じました。

ご自身や会社にごどのような変化がありましたか?

新春セミナーは『一年の計』を体現する場であり、志ある経営者との交流が私の行動を前向きに変え

る原動力となっています。私自身も意思が明確になり、行動が変わりました。社内でも理念の共有を進め、組織の一体感が生まれ、少しずつ成果にもつながっています。「明日死ぬと思って生きなさい。永遠に生きると思って学びなさい。」この言葉を胸に、学びを積み重ね、自らの人生を真に生きる一年とするために、継続して参加してまいります。

株式会社食創
代表取締役社長
竹森 直義 様
卸売業(北海道)

参加された理由をお聞かせください。

一年の始まりに、いち早く国内外の政治経済の動きを知ることができます。その動きを知ることで、自社の事業を取り巻く外部環境の変化を予測して、経営に生かすことを目的に参加しています。

どのような気づきや学びがありましたか。

特色のある企業の経営者から実際の成功事例や取り組みを学ぶことで、これまで違った視点で物事を見ることができ、経営に対する視野が広がり自社の課題解決や人材育成、業績向上のヒントを得て実践に生かすことができます。社員さんが物心両面の幸福を感じられ、お客様や地域に貢献し必要とされ続ける会社となるように、学び続けて実践していきます。

株式会社行雲流水
代表取締役社長
藤津 一弥 様
美容業
(大阪府)

参加された理由をお聞かせください。

厳しい経営環境の中、経営者としてスピード感のある正しい意思決定が重要であり、そのための経営情報を得るために参加しています。また、史上最幸の37TTや経営研究会の大切な仲間に出会えることが楽しみとなっています。

どのような気づきや学びがありましたか。

世界情勢やマクロ経済から外部環境を知り、それぞれの分野で活躍する素晴らしい経営者さんの講演から自社の意志決定に重要な情報を得ることが

できます。学んだ経営情報により、自社の理念、ビジョン、戦略などを改めて考えるきっかけになりました。新春経営者セミナーは自分自身の、経営者としての至らなさを知り、また逆に自分でも出来るという自信が持てる機会でした。そのためには継続して学び続けることが絶対に必要であり、セミナーを受講し続けることで自分自身を奮い立たせることが出来ます。『史上最幸の会社を創る』ために、これからも仲間と共に学び続けます!

株式会社心希
代表取締役
岡田 祐司 様
運送業
(静岡県)

参加された理由をお聞かせください。

TTコースでの学習を基盤に、新年から継続的な実践的経営手法の習得を目指して参加いたしました。体系的な経営力向上により経営戦略策定に活用したいと思います。

どのような気づきや学びがありましたか。

最も大きな気づきは「組織変革の本質は人材育成にある」ということでした。これまで設備投資や業務効率化ばかりに目を向けていましたが、根本的な問題は従業員一人ひとりの成長と、それを支える組織文化の醸成にあることを理解しました。「人を育て、組織を変え、未来を創る」物流業界の変革者として、学んだ知識を実践に移し、社員さん一人ひとりが輝ける職場づくりに全力で取り組んでまいります。